

## 第16回社会保障審議会人口部会

第16回社会保障審議会人口部会は、2016年8月1日（月）16:00～18:00、厚生労働省共用第6会議室において開催された。本部会は、国立社会保障・人口問題研究所が行う「日本の将来推計人口」に関し、その推計の考え方や前提に関して検証を行うことを目的として開催されており、これまで、平成14年1月推計、平成18年12月推計および平成24年1月推計の3回の推計に関して5回ずつ、計15回の審議が行われてきた。今回は平成27年国勢調査結果を受けて行う新しい将来人口推計に関する初回の審議となる。現在の委員は以下の14名である。

稲葉寿（東京大学大学院数理科学研究科教授）、大石亜希子（千葉大学法経学部教授）、大林千一（帝京大学経済学部教授）、小野正昭（みずほ年金研究所研究理事）、鬼頭宏（静岡県立大学学長）、駒村康平（慶應義塾大学経済学部教授）、西郷浩（早稲田大学政治経済学術院教授）、早乙女智子（京都大学客員研究員）、榎原智子（読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員）、白波瀬佐和子（東京大学大学院人文社会系研究科教授）、鈴木隆雄（桜美林大学教授）、高橋重郷（明治大学兼任講師）、津谷典子（慶應義塾大学経済学部教授）、山田篤裕（慶應義塾大学経済学部教授）（五十音順）

最初に福本浩樹政策統括官から挨拶があった後、津谷典子委員が部会長に選出され、稲葉寿委員が部会長代理に指名された。次に、度山徹参事官から人口部会の今後の進め方について説明があり、その後、「平成27年人口動態統計月報年計（概数）の概況」（厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当））、「平成27年国勢調査抽出速報と今後の公表予定」（総務省統計局）の二件の報告がなされた。最後に、国立社会保障・人口問題研究所から「将来人口推計とは—その役割と仕組み—」について説明がされ、議論が行われた。委員からは、将来人口推計は政策効果の議論とは分けて行うべき、過去の推計に関する評価が必要などの意見が出された。

なお、社会保障審議会人口部会の資料等は厚生労働省のホームページに掲載されている。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-hosho.html?tid=126704>

（石井 太 記）